

第三〇五回俳都松山俳句ポスト

第三〇五回開函

「虎杖」代表 松本 勇二 選

特選三句

冬將軍まず石鎧に布陣せり

愛媛県松山市 平誠

子規の字と伊予の蜜柑のやはらかさ

福島県いわき市 小野心愛

雲の上胸を張り立つ松山城

兵庫県西宮市 寺田 奈莉子

入選二十句

(市外)

春の月お城の高さの目覚めかな

埼玉県さいたま市 平野 千休

草田男を訪のう坂や冬日和

兵庫県丹波篠山市 竹田 むべ

三世代道後で湯浴み明けの春

茨城県つくば市 谷本 浩志

木枯らしが吹いたというがどの風だ

岐阜県羽島市 赤尾 光基

ゆるやかに渦なすタルト淑気満つ

広島県広島市 篠原 新治

テスト前無口な君は青みかん

東京都中野区 住友 貴子

消毒液と俳句ポストと冬麗

東京都青梅市 山本 巧

道後の湯嫁ぐ娘と春の宵

広島県広島市 山中晴江

春夕焼ビルの谷間の観覧車

岡山県倉敷市 金森秀子

マスクのない母の笑顔や露天風呂

東京都江戸川区 近藤鮎子

南予路で土筆摘みたる亡母恋し

千葉県松戸市 丸山美紀

童等が草矢で落す夕日かな

広島県広島市 岡嶋俊治

桜咲く陽がよく当たる松山城

東京都板橋区 奥泉ほのか

(市内)

眠る山起こさぬやうにそつと行く

愛媛県松山市 眠り姫

長者ヶ平に朝の体操寒明ける

愛媛県松山市 八木重明

子規博で学ぶ我が子の冬休み

愛媛県松山市 佐伯 知子

また来んさいみかん渡され石手川

愛媛県松山市 橋岡 大亮

初氷孫とふみわる田んぼ道

愛媛県松山市 宮澤 智子

(十五歳以下)

春一番過ぎれば私は一年生

愛媛県今治市 丹下 なつき

みかんむく少しやさしくなれました

愛媛県松山市 阿見 果凜

伊予灘ものがたり賞

錦秋の伊予灘ながめ夫婦旅

熊本県熊本市 塚本 紀之

投句総数 一、三五二句

市外 九一二句

市内 四四〇句

投句者総数 八五六人

市外 六五八人

市内 一九八人

開函日

令和四年二月二十八日